

2010年6月吉日

メディア各社 様

節電虫（益虫） 電子書籍出版 世界デビュー

お世話になっております。

ケイ・イー・シー（尾道）代表の釜本 二（かまもとつぐる）はこの度、掲題の通り、節電虫（節電装置）の開発背景、経緯、裏話・・・などをまとめたノンフィクション書籍「わっ！節電虫が飛んできた！」を電子書籍としてアメリカのネット出版サービス「スマッシュワーズ」を使って世界に向けて出版しました。<http://www.smashwords.com/books/view/16639>

ご存知の通り、iPadなどの携帯情報端末の爆発的な販売普及により電子書籍は紙媒体でなく電子データとして直接、購入者に届けることができます。ケイ・イー・シーでは今回の電子出版手続きを通じて英語以外の言語でも作者が容易にインターネットを通じてどこからでもいつでも出版できることを確認しました。

今回電子出版したノンフィクション書籍「わっ！節電虫が飛んできた！」はこれまでにケイ・イー・シーのホームページで無料公開して誰でもいつでもインターネット経由でダウンロードできるようにしていました。これまでのアクセス数は約1300で、手ごたえを感じていました。書籍の内容は目次として次ページでご確認下さい。

インターネットは物品販売や購入に無視できないものとなっていますが、電子書籍出版は真のペーパーレス書籍情報時代を実現します。ケイ・イー・シーの釜本は今回の最初の電子書籍出版の反応を見ながら、その英語翻訳への着手と出版、そして次の電子書籍の執筆に注力します。

スマッシュワーズ：<http://www.smashwords.com/>

以上、ご案内申し上げますので、どうぞよろしくお取り計らい下さい。

なお、本件に関するお問い合わせなどは右記のKECまでお願いします。

3ページに出版写真を掲載。

国際技術&ビジネスマッチング・翻訳/通訳・省エネ技術開発
=====

KEC ケイ・イー・シー 釜本 二（つぐる） / Karl T. Kamamoto

〒722-0215 広島県尾道市美ノ郷町三成 1998-2 KECビル 2F
TEL: 050-3440-2188 携帯: 080-1928-8778 スカイプ: kec_kamamoto
E-mail: info@kec-intl.com 又は kec-intl@bbbn.jp
URL: <http://www.kec-intl.com/>

ジェットロ・アドバイザー 広島県国際技術アドバイザー
広島弁護士会司法通訳 環境ODAエージェント

省エネ転じて福となす わっ！ 節電虫が飛んできた！

—電気節約率90%～の世界へようこそ—

素人・個人だからこそできた省エネ機器開発と省エネ大賞・(財)省エネルギーセンター会長賞 受賞
 中小企業優秀新技術&新製品・優良賞 受賞、発明大賞・考案功労賞 受賞

まえがき		
第1章	もったいない無駄と必要な無駄	P008
1.1	夜の停電	
1.1.1	ろうそくと食事	
1.1.2	がまん	
1.1.3	安全なエネルギー源	
1.2	高度経済成長・技術成長の落とし穴	
1.2.1	機能バブル 無駄創出	
1.2.2	モデルチェンジは頻繁に、改善率は少な目に	
1.2.3	ゴミの山	
1.3	水栓哲学	
1.3.1	水道哲学から少品種少ロット生産へ	
1.3.2	本物、役にたつ物	
1.3.3	ゴミ減少	
1.4	エネルギー保存の法則	
1.4.1	石炭、石油、原子力	
1.4.2	再生可能エネルギー、新エネルギー	
1.5	工場より家庭	
1.5.1	投資対象	
1.5.2	1960年代の公害	
1.5.3	行動基準 個人、企業、国	
第2章	誰でもできる発見や発明	P043
2.1	細かな観察	
2.1.1	見よ、さらば与えられん	
2.1.2	聞け、さらば与えられん	
2.1.3	感じよ、さらば与えられん	
2.2	常識よサヨナラ	
2.2.1	常識は誰がために	
2.2.2	周囲は敵だらけ	
2.2.3	危険性	
2.3	人まねをしない	
2.3.1	減少でなく、ゼロに	
2.3.2	技能	
2.3.3	アイデア	
2.4	オリジナル	
2.4.1	否定	
2.4.2	謙虚	
2.4.3	感謝	
2.5	自立立証	
2.5.1	口先だけ	
2.5.2	頭、手足は使ってこそ	
2.5.3	異業種交流	
第3章	創意工夫は適度な劣等感と貧しさから	P081
3.1	劣等感は向上の母	
3.1.1	五体満足の体	
3.1.2	脳細胞	
3.1.3	継続	
3.2	貧しさは工夫の母	
3.2.1	お金と解決策	
3.2.2	努力	
3.2.3	発信	
3.3	みんなで共有	
3.3.1	独占と苦しさ	
3.3.2	開放と気楽さ	
3.3.3	開放と気楽さ	
3.3.4	成功と尊敬	
第4章	節電虫の誕生	P102
4.1	水ききん、暑かった1994年	
4.1.1	午前4時からの2時間	
4.1.2	優れた部品	
4.1.3	大切な人的ネットワーク	
4.2	節電虫の成長期待と挫折	
4.2.1	時期尚早	
4.2.2	羽化しても飛ばない節電虫は虫かごの中	
4.2.3	個人、企業の環境意識	
4.2.4	インターネット	
4.2.5	NHK「おはよう日本」	
4.3	省エネ大賞・省エネルギーセンター会長賞	
4.3.1	締切日は僅か8日後の9月11日	
4.3.2	第二次ヒヤリング審査	
4.3.3	やった！	
4.3.4	お隣はシャープさん、ソニーさん	
4.3.5	表彰式	
4.4	COP3（地球温暖化防止京都会議）	
4.4.1	朝日新聞からの電話	
4.4.2	一步一步 相次ぐメディア紹介	
4.4.3	技術論文掲載—電子技術3月号—	
4.4.4	技術講演—サイエンスフォーラム—	
4.5	待機電力消費量	
4.5.1	発電量 節約量	
4.5.2	電気の元 電気を使う端末	
4.5.3	発電と節電 節電虫ができること	
4.5.4	3賞受賞	
第5章	節電虫の両親	P151
5.1	母親はNTT廃棄物	
5.1.1	電子化の功罪	
5.1.2	アナログ機器	
5.1.3	産業廃棄物	
5.2	父親の横顔（1）化学屋、英語屋	
5.2.1	自作タイマー	
5.2.2	シルク	
5.2.3	翻訳通訳業	
5.2.4	失敗例	
5.3	節電虫の種類と特徴	
5.3.1	ご飯を食べずに働く	
5.3.2	兄弟姉妹	
5.3.3	稼ぐ益虫	
5.4	節電虫の嫁ぎ先	
5.4.1	ISO14001	
5.4.2	大量納入先	
5.4.3	公的機関	
5.4.4	大学・研究所	
5.4.5	一般企業	
5.5	父親の横顔（2）なんでも屋	
5.5.1	地域ラジオとケーブルテレビ	
5.5.2	技術屋がめざす楽しい人生	
5.5.3	多様な組み合わせから生まれる多様な人生	
5.5.4	有害な知的所有権	
あとがき		P174